

平成 23 年度事業計画（案）

2011.1.作成

1. 普及啓発

1) 海辺の風景再発見事業（詳細別紙）

石狩浜のすぐれた自然環境について広く知ってもらうための場であるとともに、石狩浜の保全活動への支援を呼び掛ける。

内容：フォーラム・ツアー型観察会・市民調査

連携（共催）：いしかり砂丘の風資料館、札幌市博物館活動センター、小樽市総合博物館、札幌市環境プラザ

重点：市外への PR を重視、市外からの支援者の充実を図る。

2) 定例行事

自然観察会（5 月・6 月・9 月）

自然教室（夏休み期間・8 月～9 月・10 月 計）

海辺の自然塾（1～3 月）

3) 展示・見本園：企画展示、クラフトコーナーの充実、ふれあいコーナーづくりの検討

4) 情報発信：機関誌「はまぼうふう」の発行（4 回／年）、パネル展示、HP 等

5) 学習支援：学校の授業への講師派遣、現地自然学習案内等

6) 意識啓発：団体見学の案内、海浜植物の種子配布

市街地の公園での海浜植物花壇整備（花川南、紅南）継続の検討

2. 保全施策

1) シップ原生花園の保全

2) 海浜植物等保護地区の監視

3) 一般海岸・海岸保全区域の保全：植生保護柵の維持管理

（センター、北海道札幌建設管理部との分担）

4) 海岸保全：石狩浜環境保全連絡会議運営

検討課題

- ・学識者、利害関係者の参加検討
- ・利用者への啓発について
- ・保護と利用のすみ分けに関する方針について

3. 地域交流事業

「ふるさと海辺フォーラム（宮城）」への参加

石狩の活動のアピールと他地域活動事例を学ぶ。

4 . 調査事業

1) データベース関係

- ・ はまなすの丘メッシュ図への情報集約
- ・ 野鳥、昆虫、植物等リスト・写真の整備
- ・ 石狩浜モニタリングサイトの設定 海岸草原・湿地植生調査区の再調査

2) はまなすの丘地形変化の把握

3) 自然情報収集：開花状況、自然情報収集（ボランティア GP）

4) 自然再生：砂丘地形及び植生の回復実験（北大大学院農学研究院 & センター）

5 . 石狩市社会教育施設連携事業

市内社会教育施設 5 館の連携により、各館利用者のアップや事業の効率化を図る。

- ・ 館マップの作成、配布
- ・ 施設を巡るスタンプラリーの実施（4～5月）
- ・ 行事等の共同ピーアール（夏休み等）
- ・ 共通テーマによる企画展示 等

6 . 環境整備

1) はまなすの丘景観保全：ボランティアによる外来植物除去（4月、10月）

2) 見本園の整備・管理（ふれあいコーナーの検討・ゾーニングの検討）

センター～歴史公園散策路の整備・管理

親船名無沼観察場の整備・管理

7 . ボランティア支援

1) 組織づくり

2) 活動支援

H23 行事スケジュール

- ・ 4 月上 マクンベツ湿原清掃
- ・ 4 月下 はまなすの丘景観保全作業
- ・ 4 月末～5 月 石狩市社会教育施設連携事業スタンプラリー
- ・ 5 月上 マクンベツ・石狩浜観察会（春の野鳥とイソスミレ（連休明け））
- ・ 5 月下 海辺フォーラム（宮城）
- ・ 6 月上 自然観察会（兼フットパス・ウォーキング）
- ・ 6 月中 海辺再発見フォーラム
- ・ 7 月上 海辺再発見ツアー観察会

植生調査

- ・ 7 月下 夏休み子ども自然教室
- ・ 8 月上 海辺再発見市民調査
- ・ 8 月下 自然教室（ジャム作り）
- ・ 9 月上 自然観察会（兼フットパス・ウォーキング）
- ・ 10 月上 自然教室（砂）
- ・ 10 月下 景観保全作業
- ・ 1 月 海辺の自然塾
- ・ 2 月 海辺の自然塾

企画展

- ・ 地形の変化
- ・ 海辺の昆虫たちの世界
- ・ 石狩海岸の絶滅危惧種
- ・

海辺の環境保全デザイン募集